

学校生活（R6年度）

行事・部活など

土木建築系の特色ある体験的な学習

「高校生ものづくりコンテスト測量部門県大会（8月1日）」

夏休み中の8月1日、長野工業高校を会場に「第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会長野県大会測量部門」が開催されました。大会には県下の土木系の専門高校で学ぶ高校生が3人でチームを組み参加します。競技は、グラウンドに設けられた1周約150mの5角形について、内角と辺長をトータルステーションという精密な測量器械を用いて観測した後、関数電卓を使いデータを処理し、観測した5点の位置関係を座標値として求めるもので、観測および計算の所要時間と観測値の精度を競います。

本校からは3年生の北嶋さん、小林さん、田原さんがチームを組んで出場しました。大会に向け、放課後や土曜日、夏休みの炎天下のなか観測を繰り返し、観測したデータを使って計算処理の練習に明け暮れました。日に日に時間が縮まり精度も向上し、大会本番ではベストタイムの成果を出しました。操作や手順、計算、記入など、3人それぞれが担当するところで1つでもミスがあると、成果に大きく影響するシビアな競技ですが、互いのコミュニケーションと練習で培った信頼関係が現れる大会で見事に成果を挙げた3人でした。

地球の表面に大型構造物を構築する建設分野のものづくりは、完成に向け多くの人に関わる分野です。互いに協力し、調和をはかりながら精度に裏付けられた安全な製品づくりをチーム一丸となって取り組みます。今回の競技には建設分野の要素が凝縮されています。

